

【事業概要】

大東諸島および大陸棚周辺海域における漁場調査 (沖縄県産業振興重点研究推進事業)

吉田 聡*, 中田祐二¹, 秋田雄一

本事業では、本県海域に有する米軍訓練水域や日台漁業取り決め海域の影響により、県内漁業者が利用できる漁場が縮小されていることから、新たな漁場及び水産資源の探索を行うことを目的に平成30年度より実施している。

2019(令和元)年度は、6月に大陸棚周辺海域において、10月、2020年3月に大東諸島海域において釣獲調査を行った。

大東諸島調査においては、水深200m以浅で集魚灯による釣獲試験を実施した。クロシビカマスを主体に漁獲があった。漁業者からの情報によるとクロシビカマスは沖縄本島周辺でも漁獲されているが、他魚種と混獲される場合がほとんどで破棄されている状況であった。

しかしながら、南北大東ではサイズにもよるが高価格帯で取引されており、食味も良いことから、沖縄本島や周辺離島においても新たな漁獲対象種としての可能性が見いだされ

た。

大陸棚周辺海域調査においては、ユメカサゴ、アラを漁獲対象種として底立て延縄による釣獲試験を実施したところ、両種とも釣獲することができた。

また、調査に同行した漁業者の協力により豊洲市場での評価を行ったところ、ユメカサゴ1200円/kg、アラ2,000円/kgであった。

ユメカサゴ、アラともに県内市場での認知度が低いため、今後の普及活動による認知度向上により漁業者の新たな収入源として期待が持たれた。



写真 大東調査 集魚灯による釣獲調査 (左) と釣獲したクロシビカマス (右)

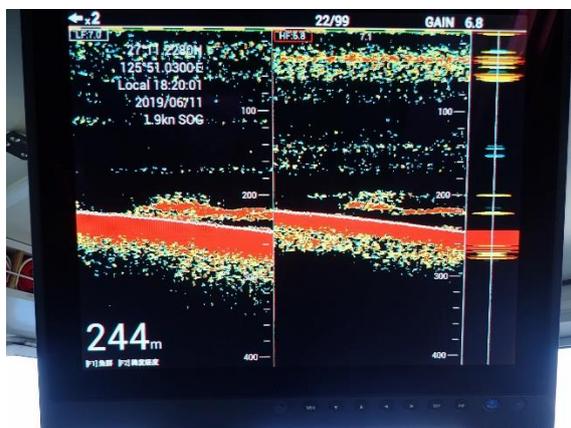


写真 大陸棚調査 釣獲調査中の魚探画像 (左) と漁獲されたユメカサゴ等の漁獲物 (右)

*E-mail : yoshidsa@pref.okinawa.lg.jp 本所 (現所属 : 沖縄県農林水産部水産課)

¹現所属 : 沖縄県農林水産部水産課